



2 0 1 9 年 5 月 3 1 日 みなかみユネスコエコパーク 公益財団法人イオン環境財団

日本ユネスコエコパークネットワークとイオン環境財団の連携協定に基づき 「第2回みなかみユネスコエコパークフェア」を開催

6月8日(土)、9日(日)イオンモール高崎にて

みなかみユネスコエコパーク (会長 鬼頭 春二 群馬県利根郡みなかみ町長) と公益財団法人 イオン環境財団 (理事長 岡田 卓也 イオン株式会社名誉会長相談役 以下当財団) は、6月8日(土)及び9日(日)、イオンモール高崎(群馬県)にて「第2回みなかみユネスコエコパークフェア」を開催します。

イオン環境財団は、日本各地のユネスコエコパークが組織する、日本ユネスコエコパークネットワーク(会長 前田 穣 宮崎県東諸県郡綾町長)と、2017年に国内初となる連携協定を締結しています。同協定は、"生態系の保全"と"持続可能な利活用"の調和を目指し、日本のユネスコエコパークにおける3つの機能(保全機能、経済と社会の発展、学術的研究支援)に関して連携して取り組むものです。

今回のフェアは、同協定に基づき実施するもので、ステージイベント、ワークショップ、パネル展示、みなかみ町の特産品の販売などを通じ、同パークの豊かな自然と人々との関わりをわかりやすくお伝えします。

また、イオンの店舗を拠点に小中学生が環境活動などに取り組む「イオン チアーズクラブ*」とみなかみユネスコエコパークが連携した学習プログラムの一環として、太田イオン チアーズクラブのメンバーがフェアへの参加や勉強会を通じ、同パークについて学びます。2回目以降の活動では、実際にみなかみユネスコエコパークを訪れ、野外実習等を通じ、生物多様性や自然との共生について学ぶ予定です。

今後も、両者はユネスコエコパークでの様々な活動に連携して取り組んでまいります。

【第2回みなかみユネスコエコパークフェア】

日 時:6月8日(土)、9日(日)

|場 所:イオンモール高崎(群馬県高崎市棟高町1400番地)1階セントラルコート

主 催:みなかみユネスコエコパーク 公益財団法人イオン環境財団

内容:ステージイベント、ワークショップ、パネル展示、みなかみ町特産品の販売など

【開会セレモニー】

日 時:6月8日(土)14:00-14:30

出席者: みなかみユネスコエコパーク みなかみ町町長 鬼頭 春二 イオンリテール株式会社 北関東カンパニー 栃木群馬事業部長 西條 克則

※セレモニーに合わせ、イオン高崎店を拠点に活動する高崎イオン チアーズクラブの 子どもたちが昨年1年間の活動をまとめた壁新聞の発表会を行います。

[※]イオン チアーズクラブ:公益財団法人イオンワンパーセントクラブの支援により、小学1年生から中学3年生の子どもたちを対象に、環境に関する学習や体験の場を提供しています。イオン各店舗を拠点に、店舗従業員のサポートのもと活動しています。

【ユネスコエコパークについて】

ユネスコエコパーク(生物圏保存地域、BR: Biosphere Reserves *1)は、1976年にユネスコが開始しました。世界自然遺産が、手つかずの自然を守ることを原則とする一方、ユネスコエコパークは、"生態系の保全"と"持続可能な利活用"の調和(自然と人間社会の共生)に重点を置いています。現在の登録件数は122カ国686件で、日本では9件 *2 です。

自然と人間社会の共生を目指すユネスコエコパークには、3つの機能(保全機能、経済と社会の発展、学術的研究支援)があります。そしてその機能を果たすために3つの地域(核心地域、緩衝地域、移行地域)が設けられています。核心地域では、厳格に自然が保護され、核心地域保護のための緩衝地域では、教育・研修・エコツーリズムなどが行われています。移行地域は、人が生活し、自然と調和した持続可能な発展を実現する地域で、環境を守りながら、循環型で持続可能な地域づくりが行われています。

- ※1 日本ではより親しみをもってもらうため、ユネスコエコパークと呼んでいます。
- ※2 「志賀高原」、「白山」、「大台ヶ原・大峯山・大杉谷」、 「屋久島・口永良部島」、「綾」、「只見」、「南アルプス」、 「みなかみ」、「祖母・傾・大崩」



3 つの地 域 (ゾーニング)

出典:日本ユネスコ国内委員会



出典:日本 MAB 計画委員会

【日本ユネスコエコパークネットワークについて】

日本国内におけるユネスコエコパークの地域間連携を促進し、一つの地域では対処できない 課題への対応、社会への働きかけなどを行い、ユネスコエコパークの理念に基づいた人間と 生物圏とのより良い関係を築いていくことを趣旨とし、ユネスコエコパーク単位が会員として 組織しているものです。

【みなかみユネスコエコパークについて】

みなかみユネスコエコパークは、群馬県の最北端に位置するみなかみ町を中心として、隣接する新潟県の魚沼市、南魚沼市、湯沢町の一部から構成されています。総面積は91,368ha、その90%以上が森林となっており、標高約300~2,000mの間に位置しています。

みなかみユネスコエコパークは、日本海側と太平洋側の 気候条件の移行帯であることなどに起因した、特殊な地 形・地質や植生により多様で希少な動植物が育まれ、独特 の生態系が見られるなどの特徴を有しています。



みなかみ町全景

エリア内では、国とNGO、地域の3者の協働による生物多様性の復元と持続可能な地域づくりを調査・研究する赤谷プロジェクトや、エコツーリズム推進法により計画が認定されている谷川岳エコツーリズム、木のあるくらしを提唱する木育事業や環境保全型の林業である自伐型林業などが推進されています。また、豊かな自然の恵みである温泉、山や川を活用したアウトドアスポーツが盛んに行われており、きれいな水や寒暖差の大きい気候により高品質な農作物が生産されるなど、豊かな自然が地域のくらしや経済に深く根ざした、人と自然が共生する地域づくりを行っています。

【公益財団法人イオン環境財団について】

「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと、1990年に設立されました。設立以来、環境活動に取り組む団体への助成や、国内外での植樹、生物多様性への取り組みを主な事業として、さまざまな活動を継続しています。イオンの植樹は1991年のスタートから数え、当財団の植樹本数を合わせて累計1,193万本(2019年3月末時点)を超えています。 *ホームページ http://www.aeon.info/ef/

■植樹事業

各国政府や地方自治体と協力し、自然災害などで荒廃した森の再生を目的として、アジアを中心とした世界各地で植樹を行っています。2019年度は、国内では北海道南富良野町、三重県松阪市、宮城県石巻市、宮崎県綾町、千葉県の九十九里浜地区で、海外ではインドネシアのジャカルタ、マレーシアのビドー、ベトナムのハノイにおいて植樹を行います。



第1回 三重県松阪市植樹

■助成事業

[環境活動助成]

1991年より28年間「生物多様性の保全と持続可能な利用」のため、国内外の地域において、 積極的に環境保全活動を継続している団体への助成支援を行い、累計では2,948件、総額26 億9,200万円となりました。2018年度は、活動分野を「植樹」、「里地里山里海の保全・ 河川の浄化」、「環境教育」、「野生生物・絶滅危惧生物の保護」の4つに助成活動を改編して 実施しました。本年度は、6月1日より募集を開始します。

■環境教育事業

[アジア学生交流環境フォーラム]

グローバルなステージで活躍する環境分野の人材育成を目的として、アジア各国の大学生が集い、各国の自然環境や価値観の違いを学びながら地球環境について国境を越えて討議をする、「アジア学生交流環境フォーラム(ASEP)」を実施しています。2019年度は、10ヶ国合計80名の学生が参加し、8月2日~6日の期間で、カンボジアのプノンペンとシェムリアップで「持続可能な平和構築」をテーマに実施します。



第7回ASEP開講式(マラヤ大学内)

■連携事業

[生物多様性アワード]

生物多様性の保全と持続可能な利用の推進を目的として、「生物 多様性みどり賞(国際賞)」と「生物多様性日本アワード(国内賞)」 の2つのアワードを創設。隔年で開催し、顕著な環境保全活動が 認められる個人・団体を顕彰しています。2018年度は、第5回 「生物多様性みどり賞(国際賞)」を実施しました。2019年度は、 第6回「生物多様性日本アワード(国内賞)」を行います。



第5回「生物多様性みどり賞」授賞式

[イオン環境セミナー]

国際的な視野で生物多様性の価値を問い直し、新たな価値を共有できる教育を目的とするプログラム「イオン環境セミナー」を2016年より実施しています。

2018年は、9月にインドネシアのインドネシア大学にて 開催しました。2019年はタイのチュラロンコン大学にて 実施します。



イオン環境セミナー(インドネシア大学)

[イオン未来の地球フォーラム]

地球の環境変化や環境問題について、参加者とともに解決方法を考え、実行策を議論し、講演と対話型パネルディスカッションを通じて理解を深め、成果をまとめる「イオン未来の地球フォーラム」を開催しています。2018年度は2月2日に、東京大学安田講堂にて「第3回イオン未来の地球フォーラム」を実施しました。第4回は、2020年2月1日、東京大学安田講堂にて行います。



第3回イオン未来の地球フォーラム(東京大学)